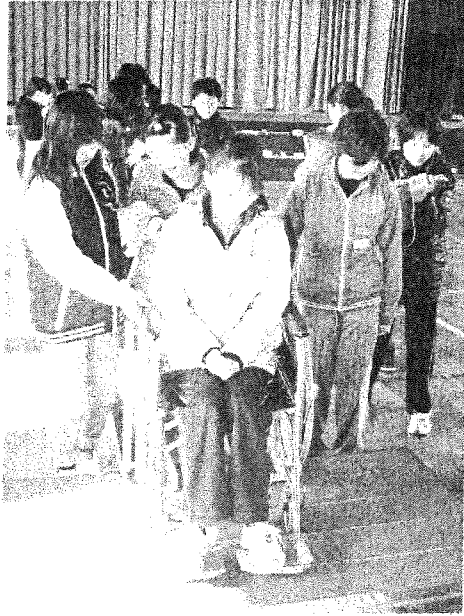


通う人達が多いです。保育園に通
っていた時に、一回だけその老人
ホームに入った事があります。何
年か前なので忘れている事が多い
のですが、つえをつかつて一歩一
歩ゆっくり歩いてゐる人や車いす
の人が思つたより多くいた事を覚
えています。その時は園児だった
ので何も感じず何も思わなかつ
たのですが、今思うと、つえをつ
いて、お年寄りには長いろう下を
一歩一歩歩いてゐたんだと思いま
す。あの時少しでもサポートして
あげたらと今すぐこうかいして
います。

私は、今管理栄養士と薬剤師を
目指しています。去年は、東日本
大しん災で多くの人が亡くなりま
した。テレビで知ったのですが、
お年寄りを助けて亡くなった人も
いました。私は将来、障害のある
人やお年寄りのために、福祉のた
めに何か役に立てたらいいなと思
います。少しの入だけでも、私の
力で何か少しでも楽になるように
なればいいなと思います。体が不
自由で思うように動けないお年寄
りやいろんな問題をかかえている
障害の入達のために今からでも福
祉のためにと募金活動などを



			に	が
			か	ん
			ん	ほ
			ぼ	っ
			っ	て
			て	将
			い	来
			き	ま
			た	当
			い	に
			と	福
			思	祉
			い	の
			ま	た
			す	め



私にできること

藤崎町立常盤小学校

六年

高橋

有希菜

私が福祉体験をして、最初に思

たことは、高齢者やしょうがい者

は、私たちが思っている以上に大

変な思いをしているというこ

す。

まず、私たちは高齢者疑似体験

をしました。特しゅなメガネをか

けて少しうすい色の付いたマ

クを見てみると、何かかいて

いるの

が全然分かりませんでした。こ

れでは、高齢者が道などを歩

いてい

るときによく見えないので、事

故

が起きてもおかしくないと思

した。

次に、車いす体験をしました。

私は車いすを押す人のサポ

ートをし

しました。車いすが行きづら

いところを少し手を貸すだけ

なのに、

けっこう大変でした。日常のち

よ

っとした段差でも、車いすが

転び

そうになることがあり、危

ないな

と思います。

次に、手話体験をしました。手

話を学んで、手話は覚えるの

が大

変ですが、耳が聞こえない人

や、

話することができない人た

ちにと

っ

では、大事なコミュニケーション

ン

の手段だということが分かりまし
 た。他には、アイマスク体験をし
 ました。いつも使っている体育館が
 アイマスクを付けるだけで、すご
 くこわい場所になりました。私は
 普段、体育館を見ているので、大
 体どのくらいのところにある
 かは分かっています。でも生まれ
 つき目が見えない人は、私が感じ
 たものよりもっと大変で、こわい
 思いをしていると思います。
 私は福祉体験をして、今はまだ
 高齢者や、しょうがいのある人か
 安全に暮らしていける世の中では

ないことが分かりました。特に、
 段差があるところでは、車いすに
 乗っている人に限らず、目が見え
 ない人などが転んでしまうかもし
 れません。都会では段差を少な
 くする対策がされているかもしれ
 ませんが、田舎ではまたそういう
 対策は追いついていません。都道
 府県の全部の市や町にそういう対
 策をして、やっと安心、安全な日
 本になるのではないかと、私は思
 います。
 私たちは授業でこのような体験
 をしました。また高齢者やしょ
 うがい者の苦しみを知らない人が

たくさんいると思います。私は、
その人たちの苦しみを知ってこそ、
本当の高齢者やしょうがい者への
気づかいや助けなどができると思
います。だから私はまだ小学生な
ので、高齢者やしょうがい者にし
てあげられることは少ないのです
が、福祉体験をしたことで、その
人たちの苦しみや、大変さを知る
ことができました。だから積極的
にしょうがいがある人を助けてい
きたいです。その時には、しよ
うがいがあるから、一年をとって
いるから、というので、特別扱い
や差別をするのではなく、普通に

その人のできないことを助けてあ
げるのが良いと思います。
今はまだしょうがいのある人や、
高齢者が暮らしやすい世の中には
なっていないません。だから、福祉体
験をした私たちがその人たちを助
けて暮らしていくことが大切だと
思います。もしかしたら時代と
もに技術が進歩し、私たちがやる
べきことを機械がやってくれる時
代が来るかもしれません。その時
代が来ても、機械などにはたよら
ず、人間ができることは、やって
いくことがされる側の人としては
うれしいと思います。技術だけで

[illegible]

安	心	安	全	な	や	さ	し	い	町	藤	崎	町	立	常	盤	小	学	校	六	年	福	祉	と	は	、	高	齢	者	の	方	や	し	よ	う	が	い	の	あ	る	方	に	と	っ	て	住	み	や	す	い	町	づ	く	り	を	し	た	り	、	自	分	で	何	か	手	伝	っ	て	あ	げ	ら	れ	る	こ	と	は	な	い	か	へ	ピ	ア	・	サ	ポ	ー	ト	）	と	や	さ	し	く	接	っ	し	て	あ	げ	た	り	す	る	こ	と	だ	と	ぼ	く	は	思	い	ま	す	。	そ	の	こ	と	は	、	「	高	齢	者	や	し	よ	う	が	い	の	あ	る	方	に	、	安	全	・	安	心	の	町	は	み	ん	な	に	と	っ	て	も	や	さ	し	い	町	に	に	も	つ	な	が	っ	て	い	く	と	思	い	ま	す	。	ま	ず	高	齢	者	疑	似	体	験	を	し	ま	し	た	。
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

高	齢	者	は	目	や	耳	・	姿	勢	・	体	型	の	調	子	が	あ	ま	り	良	く	な	い	人	が	多	い	で	す	。	ぼ	く	た	ち	は	そ	の	高	齢	者	の	体	験	を	し	ま	し	た	。	と	て	も	重	い	上	着	や	足	に	つ	け	る	も	の	、	つ	え	や	オ	レ	ン	ジ	色	の	メ	ガ	ネ	を	か	け	ま	し	た	。	そ	れ	を	身	に	つ	け	て	体	育	館	を	歩	い	た	と	き	ぼ	く	は	、	「	お	じ	い	ち	ゃ	ん	や	お	ば	あ	ち	ゃ	ん	は	ニ	ん	な	に	体	が	動	か	し	に	く	い	の	か	。	そ	れ	な	ら	も	っ	と	自	分	で	高	齢	者	の	方	に	出	き	る	ピ	ア	・	サ	ポ	ー	ト	が	な	い	か	な	い	」	と	思	い	ま	し	た	。	他	に	も	オ	レ	ン	ジ	色	の	メ	ガ	ネ	を	か	け	て	色	々	な	も	の	を	見	ま	し	た	。	黄	色	で	も	黄	色	に	見	え	な	か	っ	た	り	、	色	の	ち	が	い	も	分	か	ら
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

なか、たりしたので普通の人が見
 え、ている景色と全くちがって、
 てもニわいのではないかと思いま
 した。
 次は、アイマスク体験をしまし
 た。アイマスク体験とは目の不自
 由な方の体験をすることです。目
 の不自由な人が困ったりするのは、
 買い物をする時や交通機関を利用
 する時です。ヘルパーや盲導犬の
 力を貸りて生活しているそうです。
 ぼくたちはヘルパーと目の不自由
 な方の両方の気持ち勉強しまし
 た。
 目の不自由な方の体験をした時

一番感じたのは、「ニわかった」
 ということです。普段遊んでいる
 体育館でも目をかくすだけでとて
 もニわくなりました。それはど二
 に何があるのか、ど二にどんな人
 がいるのか全くわからないからで
 す。ヘルパーの役をして助けてく
 れる人もいたのですが、とてもニ
 わがったです。
 ヘルパーは目の不自由な人の代
 わりの「目」です。それは目の不
 自由な方がヘルパーのことを信用
 しなければできないことです。そ
 の体験をしてみても案内する人の
 誘導も分かりやすい説明で、大き

い声でやることが難しい「コミュニケーション」だと思いました。
次は、車いす体験です。車いすには手動のものと電動のものがあ
ります。ぼくたちは手動のものを
使い体験しました。乗る人と介助
する人とのコミュニケーションが
大事です。車いすに乗って思っ
たことは、他の体験とちがいで、声を
かけてもらわないと乗っている人
が転びそうになりとても危ないと
いうことです。介助する人は車い
すに乗る人の気持ちを考えて、コ
ミュニケーションをとりながら介
助しているというところが分かり、

とても勉強になりました。
最後は、手話です。手話は耳の
不自由な方の手を用いた言葉です。
手話ではあいさつや誕生日などの
手話を楽しく教えてもらいました。
ぼくはこの福祉体験を通して、
高齢者やしょうがいのある方に、
安全・安心の町はみんなにとって
もやさしい町になるのではない
かと強く思いました。自分に出来
るピア・サポートとは何かをもっ
と深く考えて、だれにでも平等に
仲間を進んで支援することに
つながられるようにしていきます。
困っている人がいたら、

